

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年5月18日時点)

➤ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への抵抗を継続するとともに反転攻勢に向けた動きを活発化させる一方、露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦や各地の非軍事施設に対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

: 死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上 (OHCHR4月10日)

- ザルジュニー「ウ」軍総司令官は、16日未明にロシア軍により**18発の各種ミサイル**(「キンジャル」×6、「カリブル」×9及び地上発射ミサイル(S-400及び「イスカンデル」)×3発)の攻撃が行われたものの、**全てを撃墜した旨発表**。(5月15日)
- ロシア国防省は、「キンジャル」によるキーウへの攻撃により、米国製の地対空ミサイルシステム「**パトリオット**」を**破壊したと発表**(5月16日)
- CNNは、米高官の話として「パトリオット」の損害が軽微で、特に**レーダー部分の損傷がなく引き続き稼働中**ある旨指摘(5月17日)

- ロシア占領当局の「**ザポリヅジャ州知事代行**」は、ザポリヅジャ州の前線地域から**住民3,579人を後方のベルジャンスクに退避させた**と発表(5月16日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🟦 ウクライナ軍が奪還した地域

- ロシア西部ブリャンスク州でロシア軍の戦闘機「Su-34」及び「Su-35」各1機とヘリ「Mi8」2機の**計4機が墜落**(5月13日)

- 5月11日、**英国防相は、射程250kmの空対地巡航ミサイル「ストーム・シャドウ」をウクライナに供与した旨発表**
- 5月14日、仏大統領府は**軽戦車「AMX-10RC」数十両を提供すると発表**。また、15日、「ウ」軍に対し、**戦闘機操縦訓練を実施すると発表**
- 5月15日、英首相は「ウ」軍に対する**F-16等の操縦訓練を今夏開始すると発表**

- マリヤル「ウ」国防次官は、バフムト周辺において「**ロシア軍の陣地10か所以上を奪還した**」と発表(5月14日)
- 同氏は、「**ロシア軍がバフムト側面防御のために空挺部隊を他地域から転用し追加的に投入している**」と指摘(5月15日)
- 同氏は、「**「ウ」軍はここ数日で約20平方キロメートルを解放したものの、ロシア軍がバフムト市内で少しずつ占領地を拡大している**」と指摘(5月16日)

